



# ぼらんていあ通信

4月号  
通巻 No.521

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2025年4月24日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: https://sagamiva.info

## 第52回相模原市民桜まつり 4月5日(土)～6日(日) 福祉バザーと市民パレードに参加しました!



「桜がお散歩しているみたい」  
隣をお母さんと歩いていたら小さな女の子の声。咲き始めた桜が冬に逆戻りした寒さで「桜まつり」を待っていてくれた。  
昨日見物に出かけた近所の人はたいそう賑やかだったと話していた。

2日目の6日、まずは福祉バザー会場のけやき体育館へ向かう。福祉関係の5団体が参加。それぞれ手作りの手芸品や雑貨、食器など所狭しと並べてお客様を呼び込んでいる。  
昨日はオープンと同時に会場はいっぱいの人で大にぎわいだったそうだ。今日はすでにいるのでお客様は品物を手に取ってゆつゆの買い物ができる。シャイアングッズを手に大喜びの男の子がいたそうだ。その時、会場にいなかった私でも、男の子の喜び様子が目に浮かぶ。来年はヤクルトかなどはあんなスタッフの声。

次は市民パレード。ボランティア協会は8番目のスタートでドッジボールやラグビーなど子供と保護者の行進に続いて出発。車いす、ハンディキャブ2台、プラカードなど総勢10数名で行進した。

私は初めて車椅子に座って押ししてもらったが、晴れがましいよい天気、気持ちいよつな、市役所の前から税務署の交差点まで信通のしほごを普段歩くよりの長く感じた。押してくださいだった会員の方、ありがうございました。午前中は雨の心配もあり、昨年のパレードより見物の人垣が少ないよつに感じた。(三十尾)



バザー会場はたくさんのお客様で大忙し!

### お知らせ

#### 通常総会の案内

2025年度の通常総会を次の通り開催します。正会員の皆様には開催通知と議案書をお届けします。ご出席いただきますよう、ご予定ください。

- 日時 5月31日(土) 午後2時～4時
- 会場 あじさい会館6階ボランティア活動室
- 議事 ①事業報告 ②会計報告 ③役員選出 ④事業計画案 ⑤予算案

※年に一度の大切な総会です。ぜひご出席ください。理事一同



前編

「認知症をもっと知る講座」たくさんの方参加を促して

認知症をもっと知る講座に参加して

去る3月27日(木)あじさい会館にて「認知症をもっと知る講座」に参加しました。当日はなんと61名の参加者が(少)しお年を召していらっしゃる方が多くありました。

まず、ボロンティア協会講座検討委員長の西本さんの司会、協会副会長の恒藤さんの挨拶、講師の糠信代子さんの自己紹介から始まりました。

糠信代さんは相模原市チームオレンジサポートセンターコーディネーター(介護福祉士・介護支援専門員)認定NPO法人Link・マネジメントの肩書をお持ちの方です。

＊まず、「認知症を正しく知ろう」

認知症とは、高齢になると脳細胞が少しずつ抜け落ち、物忘れが出ることもありますが多くの高齢者においては生活に支障をきたすほどの影響はない。一方脳に何らかの病的な変化が起こり老化だけでは起こりえない物忘れ等様々な障害が起こり、生活にも支障が生じることがあり、その状態が6か月以上続く場合を認知症という。



いつも笑顔の糠信講師 優しい声でお話を!



認知症の原因になる脳の変化は脳(特に海馬)が萎縮するアルツハイマー型認知症、脳梗塞や脳出血等により脳細胞に栄養が届かなくなり一部の細胞が壊れる脳血管性認知症がある。他にはレビー小体型認知症、前頭側頭葉認知症がある。製剤はアルツハイマー型認知症が多い。原因としては薬の服用によることや、糖尿病などによって発症する。

認知症の症状は中核症状と行動・心理症状の二つに分けられる。

中核症状は記憶障害(新しいことが覚えられない)、見当識障害(時間、季節感、場所、方向感覚など自分の置かれている状況を理解する力が低下する)、理解・判断力の障害(物事を理解判断する力が低下することによる予想外の事に対応できない)、実行機能障害(計画的に順序立てて行動することが難しくなる)などがある。

行動・心理症状は本人の性格、素質、環境、心理状態によって生じる症状(うつ、妄想、幻覚、不安焦り、介護への抵抗、攻撃性、徘徊、異食、睡眠覚醒リズム障害など)。

加齢による物忘れは電話の用件を忘れる。昨晩何を食べたか思い出せない。しまった場所を忘れる。物忘れの自覚があり、メモなどの対策を取る。

一方認知症による物忘れは、電話があったことを忘れる。食事をしたこと自体を、物を整理したこと自体を忘れる。物忘れの自覚に欠けメモを活用できない、などの違いがある。

5月の記念日は?

小倉義男

5月15日は、ヨーグルトの日です。

菓子、健康食品、乳製品などを販売する株式会社明治が制定。日付はロシアの微生物学者で、1908年に食菌の研究でノーベル生理学・医学賞を受賞したイリア・メチニコフ博士の誕生日(1845年5月15日)から。イリア・メチニコフ博士はヨーグルトに含まれるブルガリア菌が老化防止に役立つということを研究し世界に発表。この研究のおかげでブルガリア菌を使ったヨーグルトが健康に良いと世界に広まった。

小倉画

【出典(一社)日本記念日協会より参照】



私たちの大脳の働きには4つの葉があり(前頭葉側頭葉等)夫々役割を持っていて何かを認識する時にはそれぞれが役割を果たし次につなげ結果を出している。経験をしたこと記憶を頼りに生活している。そこです。(恒藤・石関)

＊「認知症の方との関わり方」

「認知症当事者の話」

などは次号に続きます。

お楽しみに。



参加者は熱心に聞き入って!!

市内団体訪問記

オヤマシマ

「オヤマシマ」で生きているNPO社会人！  
一般社団法人ラフレックスの活動

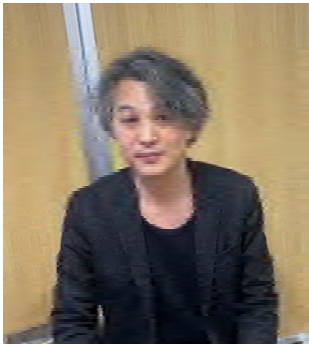


小田急相模原川通線オダサガの駅近くの『一般社団法人ラフレックス』を訪ねたのは、市民桜まつりの余韻も冷めない4月11日(金)。事務所には寄付された品物が山積みされ、階下のリサイクルショップ『ザ☆』ネットワークス』の商品をねだるための検品や値付けを待っている。その傍の机でパソコンを操作していた代表理事の神崎寛明氏(カミキヒロアキ)さんへ企業理念と事業の概要を伺った。

【神崎代表理事へのインタビュー抜粋】

「私も精神障害や発達障害のある人をフォローする仕事をしており、そこで、成人であれば当たり前なことである働いている人や一人暮らしをする人に対して、「僕は働いても良いのでしょいか」「一人暮らしをしても良いのでしょいか」と確認されることにショックを受けた。そんな当たり前のことが自由でできないことがおかしいと感じ、この状況を何とか打開できないかと思い、法人を立ち上げた。

まずはグループホーム『サンズイ』を開所して生活の場を保障し、次いで日中活動の場として、就労支援



とても優しく対応して下さった神崎代表理事

事業所『ラフレックス・オダサガ』を立ち上げ、日中の居場所を提供しながら、就労に向けた支援を行っている。

現在はその他に、重症心身障害児の放課後アセスを中心にもさまざまな障害福祉サービス事業を展開している。

グループホームは、そこにずっと住み続ける永住型ではなく、卒業して一人暮らしを目標とする通所型になっている。ただ、期間は設けずその人に合わせて卒業を目指していき



倉庫には季節ごとなどに仕分けされた衣類が！！

卒業後も定着支援としてフォローをしている。支援は大きく分けて日常生活支援と社会生活支援で、利用者の希望や障害の状態に応じて支援を検討している。具体的には、金銭管理・食事・部屋の状況・通院服薬など。また社会生活では各種手続きをはじめ家族・近隣など周囲との環境を整える仲立ちや同行支援などを行うこともある。行政と民間福祉事業のほかにまで途方に暮れている利用者さんの姿を見ていると、つい、業務外の相談に乗ったり同行するようになることもあり、「福祉のすまじ間」に直向することも少なくない。

\* \* \* \* \*

今後の展開や目標などを伺って、「金・人・場所があれば、やりたいことはたくさんあります。でも職員を募集しても、応募してくれる人がいないのが目下の悩みで、理念に共感してくれる人をぜひ紹介してください」とのこと。ボランティア協会の会員で、お知り合いの方など心当たりのある会員さんには、「こーをお願ひしたい」と思った。

実際の作業風景を見学させていただいた。寄付された品物の検品・値付けの実際や、PC事務作業ではパソコン操作に余念のない様子、少し離れたレストラ

ン『Dining Bar GIFT』ではオムライス的美味しそうな写真に、次はフライベートでよつとひそかに思ったのした後、最後に事務所階下のリサイクルショップに案内していただいた。店内は衣類を中心に、春をテーマにしたような明るい配色のディスプレイが気分を華やかにしてくれた。和服の生地で作られているかわいい小物入れや、帯地で作られたバッグなどもあり、なんとこれらの商品は利用者が作成したとのこと。手芸愛好家は垂涎の材料が倉庫でつながっているのだ。

「和服は正絹の羽・重や緋子・ちのめなども多く、色焼けなど着物として着られなくても手芸材料として重宝されます。端切れの在庫が多いので、仕入れてくれる先があれば着物や帯も喜ぶよ」と、これは筆者の感想。多岐にわたる事業を一筆に説明してくださった神崎代表理事の記事に掲載する写真をお願いしたら、気持ちよく応じてくださった。マスクを外した神崎さんは、澁刺とした好青年という印象だ！ (恒藤・小川み)



店内には春らしい衣類や手作りの手芸品が！

\*一般社団法人 ラフレックス  
代表理事 神崎寛明  
〒252-0313  
相模原市南区松が枝町 15-15  
TEL : 042-767-3307  
FAX : 042-767-3308  
MAIL : office@laflex.org



『Dining Bar GIFT』



理事会報告



4月12日(土) 理事会(理事の名出席)  
1. 報告・連絡事項

《広報委員会》

・ぼら通3月号の、会員登録更新のための郵便振込用紙を同封した。

・フェイスブックにはぼら通、オシヤマミマスをアップした。

《HCC委員会》  
・3月29日に「HCC運転者研修会」を開催した。

・13号車のタイヤ交換とバッテリー交換を定期点検の際に実施した。

《事務局委員会》  
・HCC利用会員の令和7年度登録更新について再確認をした。

《講座検討委員会》  
・来年度の講座の計画を検討中。

《傾聴委員会》  
・傾聴利用者は少なくなりましたが増やそうような確認をした。

《映像企画実行委員会》

・今後若サボと協力協働で動画作成やYouTubeの取り組んでいこう。

《その他》  
・ボウリング大会についてボウリング場と日程などの最終確認をした。

2. 審議事項

・通常総会関係の確認・検討をした。

・あじさい会館主催の「あじさいフェス in SAGAMIHARA 2025」に参加の準備を進めよう。

次回臨時理事会 4月19日(土) 10時～

相模原ボランティア協会 5月の予定

| 日     | 時間     | 内容          |
|-------|--------|-------------|
| 14(水) | 14:00～ | 映像企画実行委員会   |
| 15(木) | 13:00～ | 広報委員会・ぼら通部会 |
| 17(土) | 13:00～ | 事務局委員会      |
| 20(火) | 10:00～ | 講座検討委員会     |
|       | 10:30～ | ぼら通5月号印刷    |
|       | 13:00～ | ぼら通5月号発行    |
| 29(木) | 10:00～ | 傾聴委員会       |
| 31(土) | 14:00～ | 通常総会        |
|       | 総会后    | 定例理事会       |

これからのボラ協交流事業のご連絡！



会員の皆さんの参加・応援をお願いします。詳しい内容などは、近くになりましたらぼら通に掲載します。

- ★6/8(土) あじさいフェス in SAGAMIHARA 2025  
あじさい会館主催のイベントです。ボラ協も、展示やイベントで参加します。詳細は来月号に掲載します。
  - ★6/28(土) 交流ボウリング大会
  - ★8/8(金) 子どもボウリング大会
  - ★10/11(土) ほかほかかられあいフェスタ2025
  - ★11/29(土) 障害者週間キャンペーン
- 多くの皆様のご参加をお待ちしています。

アイスに挑戦



アイスクリームクイズです。書くなるこれからの必需品ですね！

- ① 次のうち、実際にある医学用語はどれでしょうか。
- ② 次のうち、アイスクリーム(シャーベット含む)の購入金額が日本一という都市はどれでしょうか。(※2017年～2019年の統計)
- ③ 20世紀前半、アメリカでアイスクリームの大量生産が始まったのは、どんな会社がアイスクリームづくりに参入したことがきっかけだったでしょうか。

- ア自動車会社 イ保険会社
- ウ映画会社 エホール会社

クイズの答え



- ① はアアイスクリーム頭痛。アイスクリームやかき氷などの冷たい食べ物を食べたときに頭に「キーン」となるような頭痛のことです。
- ② はウ金沢市。
- ③ はエホール会社。1920年に「禁酒法」が施行され、ビールが作れなくなった会社が、アイスクリームづくりに参入しました。

活発な意見交換会に!

ハンディキャップ運転手交流会



市役所通りの桜も満開間近の3月29日(土)市民会館の4階でHC(ハンディキャップ)の運転手の皆さんと運行調整の業務に関わる事務局、総勢23名で交流会が開かれました。

24年度は大地震発生時の避難や行動判断などに関する講習会、HC車の入れ替えに伴う説明実習会に続き3回目の会合でした。今回は連絡の要の事務局が新年度から土曜休みが導入されることに伴い運行の重要な変更の説明があり、大変「苦労」をかけています。

HC運転手の一人でもある加藤会長のあいさつで会は始まりました。

- ① 同食会
- ② HC講座に向けての意見交換
- ③ 4月からの運行業務の変更点
- ④ 桜まつりのパレードのお知らせ



会食では、話がしやすいように机の配置も考え、皆さんから運行時の話やほかのボランティアや仕事の話など伺い、和気あいあいとした時間を過ごしました。運転手さんの家の畑で採れた果物のお土産の差し入れもありました。

口も好まれたことと併せて講座検討委員会委員長長の西本さんに進行をしていただき、運転手不足の解消のための意見交換になりました。運転手さんの自身や家族の高齢化で活動時間が取れなくなると、利用者さんの増減の相対的「運転手さん」が減りつつあることがHCの課題になりつつあるようです。



4月6日桜まつりのパレードではHC号2台とともにHCドライバーや事務局員の皆さんで大行進を!!

運転手になったきっかけは様々でしたが、身近な人の介助の経験、人の役に立つ活動をしたい、運転が好きといった理由が多く聞かれました。人の役に立っている実感が持てる、利用者さんの感謝の言葉が嬉しく続けるモチベーションになるという方の話には、HCに携わる者同士の共感からか頷きながら聞いていらっしゃる方が多くおられました。

また、運転手さんを増やすにはSNSの活用、利用者の方の声を伝える場を作るなどの意見があげられました。真摯な方が多いのですが、この日は予定時間を大幅に超えるたくさんのお話をいただきました。

25年度秋ごろにはボラ協の講座の企画としてHCを取り上げてくださるとの講座検討委員の提案に大きな期待が寄せられました。その後、事務局から4月からのHC運行の変更についての説明がPC投影でありました。ご承知のよちに、4月から事務局のある中央ボランティアセンターは、平日は午後5時、土曜も完全閉室となり、これに伴う変更は多岐に渡ります。

前日確認、料金や交通費の精算、車の鍵の受け渡しなど熱心に聞いていただいたので、4月現在大きな混乱もなく運行できています。

桜まつりのパレードには、ボラ協の福祉車両2台が横断幕、運転手募集のプラカードとともに参加します。一緒に参加者とHC委員で運転手OBの杉本さんが会場を呼びかけました。甲斐あって今年のパレードには、5名の運転手さんが車に乗ったり、歩いたりに参加されました。

最後は、運転手必携アルコールチェッカーの交換用電池を配って終了。25年度もすべての運行が安全に行われること、また、HCに気持ちをお寄せいただく方が増えることを祈っています。(杉崎)

追悼文をいただきました  
尾野さん

尾野さんを偲んで

みそお さいち  
三十尾 幸子

ボランティア協会会員で、シルバー友の会の代表もなされていた尾野輝雄さんが2月に亡くなられました。平成23年からシルバー友の会の代表を引き受け、先頭に立って介護老人施設で活動、養成講座、会員向けの勉強会の企画など、知恵を絞っていらっしゃいました。

「コロナ禍で老人ホームからの依頼も減り、会員自身の高齢化や家族介護で活動できる人も少なくなり、今後のことを考えている折に訃報の連絡を受けました。本当に今までのありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。

シルバー友の会は、こころで解散をいたします。

# ボランティアさん募集！

— ボランティアセンターからのお知らせ —

## ① いるかバンク登録者募集！

登録者一人ひとりに合ったボランティア活動をご紹介します。  
福祉施設での日課活動支援・環境美化活動・子どもに関する活動など…  
やってみたいことをお気軽にご相談ください！

## ② パフォーマンスボランティア募集！

福祉施設等でパフォーマンスを披露するボランティアを募集しています。  
楽器演奏・コーラス・マジックなど…得意なことを活かして楽しくボランティア活動しませんか？

## ③ さがみはら・ふれあいハートポイント事業に登録しませんか？

指定の高齢者福祉施設等でボランティア活動を行った際に、その活動の実績に基づきポイントを付与し、年度末にポイントに応じて、報奨金を交付するものです。

ボランティアセンター窓口で手帳をお渡ししています。

対象者：相模原市内に住所を有する65歳以上の方

※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール [svc@sagamiharashishakyo.or.jp](mailto:svc@sagamiharashishakyo.or.jp)



なお

山口尚美画

《3月のイラスト》  
…赤ちゃんの「おでこ」が  
「きゅん」だよー笑

### ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

《3月の寄付者》

29名の方からご寄付をいただきました。

《3月の寄付金》

総額 80,680 円でした。



お忘れなく！

### 会員登録のお願い(再掲)

今年度の会員登録が4月1日から始まりました。引き続き会員登録の更新をよろしくお願い致します。

あじさい連絡所または郵便振込で更新手続きができます。

ご住所等、登録内容に変更のある方は併せてご連絡下さい。

事務局

### 編集後記

3月末から4月初めにかけて気温が急激に下がり、冬の服装も一回片つけたが、また引っ張り出す。でも気温が急激に下がったおかげで、3月末に満開になった桜は4月5日も満開で、素晴らしい桜まつりとなった。2025年は市にとって政令指定都市発足15周年記念の、今年には春から縁起がいいな〜？

(高)